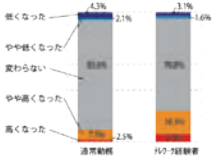
01. 設計趣旨

現在、新型コロナの影響等により、場所を選ばず仕事を行えるリモートワークが普及しつつある。また、感染リスクを考慮し、人口が少なく自然に恵まれた地域で仕事をしながら暮らせる環境を求め、地方移住を検討する人が増加傾向にある。同様の理由から、二拠点居住や月額制で全国各地の民泊施設を利用できるサービス等も注目されている。今後暮らし方自体が多様化していくことが予想される(図1)。こうしたライフスタイルの変化は今後地方移住を促進すると共に地域活性化を担っていくと思われる。これらを踏まえ、本計画では単なる地方移住の促進や地域活性化を目指すだけでなく、自然の中で地域と馴染み、地方ならではの仕事と暮らしを行える建築や街のあり方を提案する。

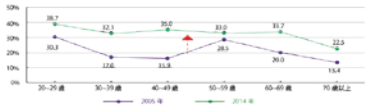
1.ADDress のｻｰﾋﾞｽﾀﾞｲｱｸﾞﾗﾑ

02. 地方移住の現状と課題

内閣府の調査によると、テレワーク経験者においては、生活を重視し、仕事以外のことの重要性を意識するようになった人の割合が多く、都内でのテレワークの経験者の 24.6%が地方移住への関心を抱いている(図2)。地方移住は主に老後の暮らし方の選択肢として考えられていたが、近年では地方での暮らしを志向する若年層が増加傾向にある(図3)。だが、実際に地方移住に至ることは少ない。仕事の選択肢が少なく、それらを学ぶ機会も乏しいことや、近隣との付き合いへの不安等の問題が、関心をもちつつも地方移住に踏み出せない要因であると思われる。だからこそ、段階を踏みながら、地方での暮らしを体験して移住を選択できる必要がある(図4)。

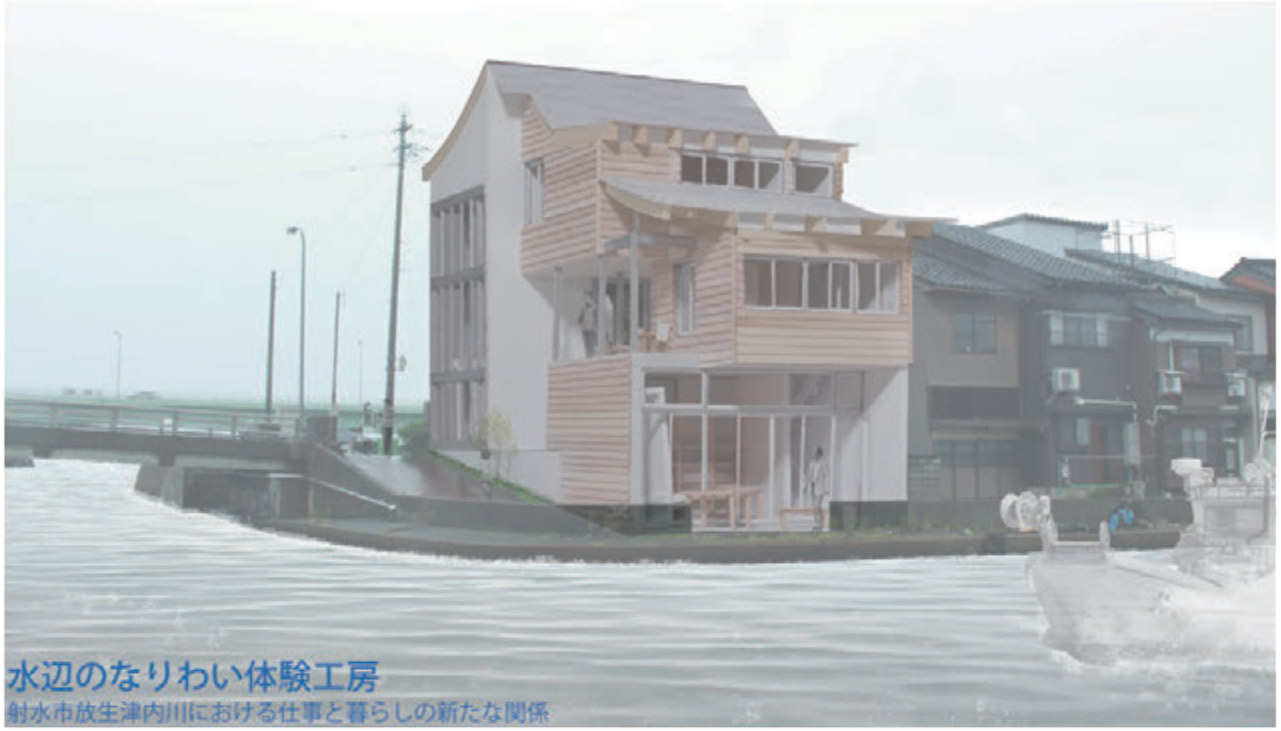


2. コロナ後地方移住への関心の変化



3.「都市住民の農山漁村への定住願望」データ

4. 段階的な移住体験の必要性



03. 射水市放生津内川

■歴史と風土

出典：北陸農政局土地改良の歴史

出典：富山県の産業と港湾

射水市は富山県のほぼ中央に位置し、海や川など自然に溢れる都市である。海沿いにある放生津内川を起点に漁業や海運業、農業が発展した。この川は海と海を結び、古くから運河として人々の生活に深く関わってきた。かつてこの地域のほとんどが湿田地帯で、刈り取った稲を乾燥させるための「ﾀｺﾞの木」や稲を運ぶ「ｲｸﾘ」等を駆使し農作業を行っていた内川に繋がる放生津潟では釣漁やｼｼﾞﾐ漁が盛んに行われていた。

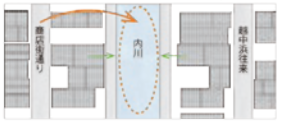
■時代と共に移り変わる賑わいの場

放生津ｴﾘｱには、越中浜往来や商店街通り、内川の水辺の通りがあります。各通りを時代ごとに賑わいの場を移行しながら発展した。14 世紀には、城と共に越中浜往来が誕生し、賑わいのある通りに発展した 18 世紀には、内陸部に店舗が連なる通りが誕生し、越中浜往来から賑わいの場が移行した。現在では、少子高齢化や継承者不足等の問題から、空き店舗や空き家、空き地が増加し、商店街りの賑わいは失われつつある。

14~17 世紀頃の放生津内川

18 世紀頃の放生津内川

現在の放生津内川



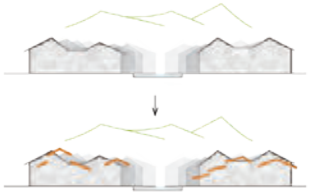
出典：コロカル　マガジンハウス HP より

出典：髪と髪の毛の 357 日の HP より

一方で内川沿いでは、水辺空間の豊かさに惹かれ、空き家を改修して店舗を開く、居住者が増え　内川に賑わいが、移行しつつある。ｱﾒﾘｶ人移住者が営む、古民家を改修したﾊﾞｰや Uﾀｰﾝ移住者が営む美容室など、新たな店舗が川沿いに点在し、水辺となりわいが一体となった、落ち着きがありながらも賑わう街になりつつある。

04. 放生津内川におけるなりわい体験工房

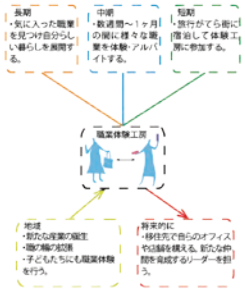
■放生津内川の街並みの構成



高さや勾配が不揃いな切妻屋根が各通りに向けてかけられている。奥にある山脈のように屋根が重なり合う。現在の街並みの構成をもとに、屋根形状を踏襲し、放生津内川の景観に合わせる構成にする。

■職業体験の仕組み

街全体で様々な職種を、段階的に体験し、自分らしい仕事と暮らしを展開できる場を複数計画する。短・中・長期の様々なｽﾀﾝで、地域にある既存の店舗や移住者が営む店舗・ｵﾌｨｽを体験する。また、なりわい体験工房では様々な移住を想定し、職業体験の選択肢や居住のバリエーションを複数設ける。



■放生津内川と各通りを繋ぐ水辺空間の提案

賑わいが薄れた、各通りの空き家や空き地を放置せずに、水を引き込み、内川の賑わいが各通りに伝わる水辺のまちづくりを提案する。また、空き家を改修して通り抜けができるようにすることで、災害時には避難経路として利用可能になる。将来的な津波被害に備えて、街並みに配慮しながら、一部避難やぐらも設ける。

■水辺のなりわい体験工房

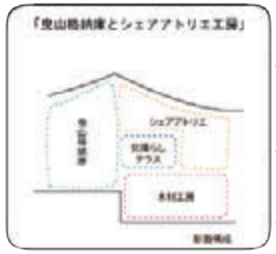
これらを踏まえ、段階を踏みながらなりわいを体験し、自分に向いた仕事と暮らしを模索する　水辺のなりわい体験工房を５つ提案する。一部を集中的に計画するのではなく、建築を点在させることで、それぞれの水辺との関係を通じて、仕事と暮らしのあり方を展開する。

曳山格納庫とシェアアトリエ工房

「アトリエとシェアオフィス工房」はシェアアトリエ、木材工房、ものづくりやデザインを体験することができる。シェアアトリエを訪れるデザイナーや工房に訪れる地域住民と交流するしながらものづくりを体験することができる。また、年に一度行われる祭りに使用される曳山を補修しながら管理・展示することで放生津内川を訪れた人にこの地の文化を発信する。

・クリエイターや地域住民、体験者にものづくりの拠点として活用してもらう。
・地域住民と共に曳山の補修しながら展示しこの街の文化を発信する。

・建築家
・シェアアトリエ
・木材工房
・曳山の維持管理



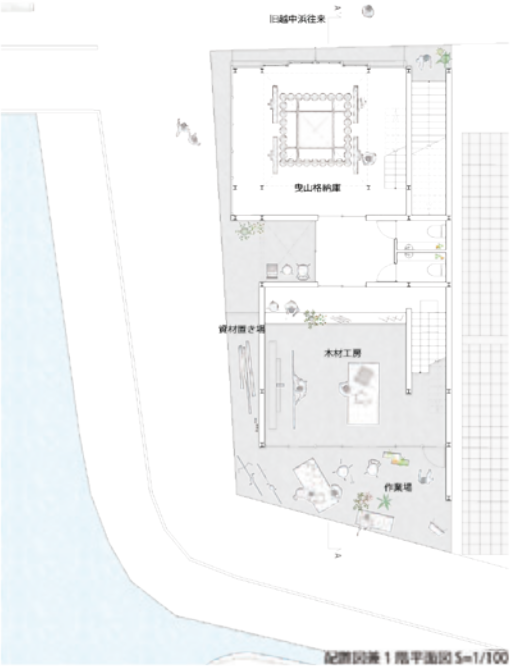
シェアアトリエを利用 クリエイターと交流 — クリエイター

日常的に曳山を感じられる。ちょっとした DIY を依頼 — 地域住民

プロクリエイターに図面から木材の加工まで学べる。 — 観光者・工房参加者

出典：岩水曳山 SWEETS

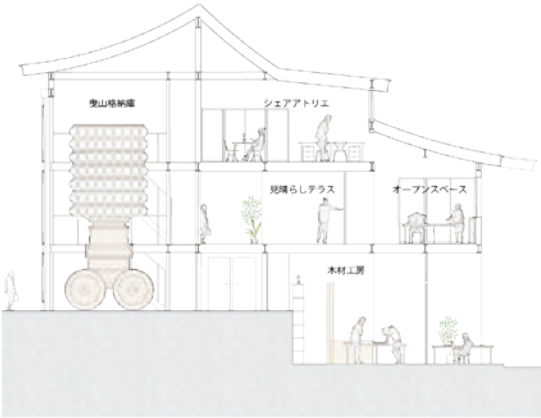
毎年 10 月 1 日に開催される曳山まつりは、放生津八幡宮の例大祭で、13 本の曳山が順列を連ね、狭い街角を急曲がりするときの勇壮さが見どころである。夜の提灯山が内川の水面に映り、幻想的な姿を見せる。

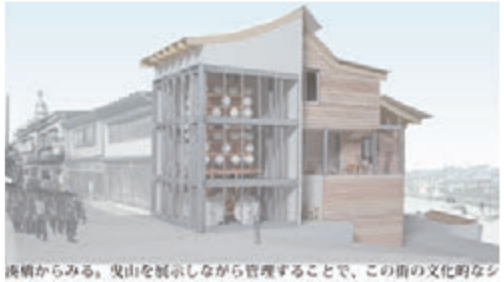


配置図兼 1 階平面図 S=1/100

2 階平面図 S=1/100

3 階平面図 S=1/100





街路からみる。曳山を展示しながら管理することで、この街の文化的なシンボルとなる。また、見晴らしテラスでは内川のい街並みが眺められる。

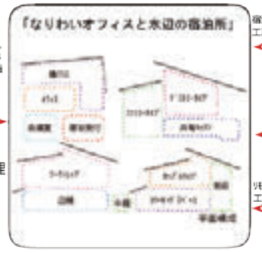
A-A' 断面図 S=1/100

なりわいオフィスと水辺の宿泊所

「なりわいオフィスと水辺の宿泊所」は、まちに宿泊して x 体験工房に参加できるように 2 棟の長屋を宿泊施設や店舗・オフィスに改修する。様々なタイプの宿泊施設があり、体験方法や働き方に合わせた暮らしを体験することができる体験工房の拠点となる。

・この地に訪れた人々の仕事と暮らしに合わせながら活動の拠点として利用してもらう。
・富山にまつわるなりわいのネットアフタストアとワークショップを企画し自分に向いた仕事と暮らしを模索する手助けをする。

・なりわい体験工房
・宿泊施設の運営・管理
・イベントプランナー



宿泊の拠点として利用 工房参加者と情報交換 — 観光者・工房参加者

ふらっと散歩・休憩 — 地域住民

リモートで仕事をしながら工房に参加 — ダブルワーカー

配置図兼 1 階平面図 S=1/200

3 階平面図 S=1/200

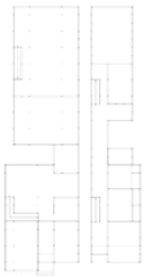
2 階平面図 S=1/200

A-A' 断面図 S=1/200

B-B' 断面図 S=1/200

既存 A-A' 断面図 S=1/400

既存 B-B' 断面図 S=1/400



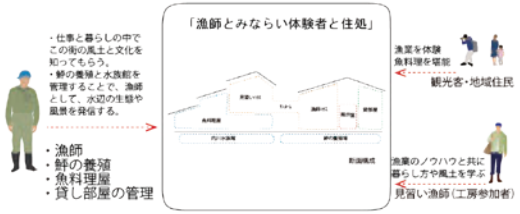
既存
1 階平面図 S=1/400

既存
2 階平面図 S=1/400

商店街通りからみる。通りに面して会議室や店舗を設けることで、通りに馴染む風景を作る。櫓テラスからは内川とは違う商店街通りの風景を楽しめる。

漁師とみならい体験者の住処

「漁師とみらない体験者の住処」は漁師が使用していた蔵と母屋をリノベーションする。仕事の中で地域の暮らしや風土を知ってもらう。みらないとして、実際に漁師家族と共同生活を行い仕事と暮らしを学ぶ。また隣接する空き地を水辺に更新し、鮮の養殖所と内川水族館を設け、観光からなりわいまで段階を踏みながら漁業に関わることができる。

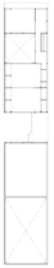


配置図兼１階平面図 S=1/150

２階平面図 S=1/150

３階平面図 S=1/150

既存
１階平面図 S=1/400



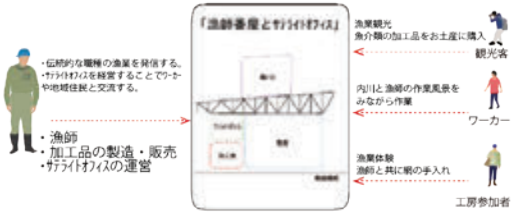
既存
２階平面図 S=1/400

既存断面図面図 S=1/400

A-A' 断面図 S=1/150

漁師番屋とサテライトオフィス

「漁師番屋とサテライトオフィス」は既存の漁師小屋（番屋）を改修する。放生津内川の伝統的な職種である漁業を体験することができる。番屋で漁業作業をする漁師とｻﾃﾗｲﾄｵﾌｨｽを訪れるﾀﾞﾌﾞﾙﾜｰｶｰはトラス屋根のした各々作業をする。



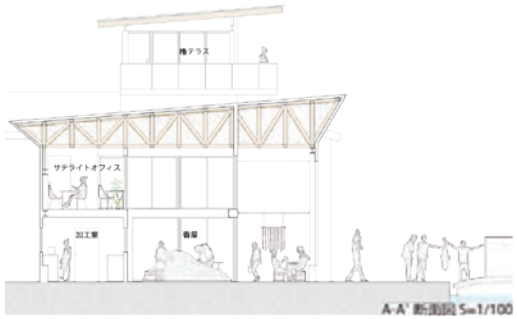
配置図兼１階平面図 S=1/100

３階平面図 S=1/100

２階平面図 S=1/100

既存１階 S=1/200

既存断面図 S=1/200

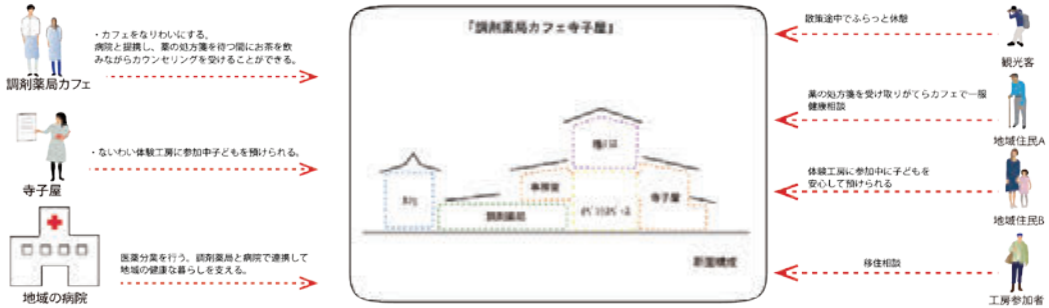


A-A' 断面図 S=1/100

通りからみる。既存の日鋼を利用しながら、屋根は木造架構に変更することで、１つ大きな屋根の下でさまざまななりわいが活動する場となる。

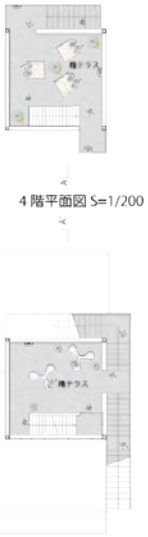
調剤薬局カフェと寺子屋

「漁師とみらない体験者の住処」は既存の公民館を改修すると共に新たに調剤薬局と寺子屋を計画する。なりわい体験工房に参加中子どもを預けられる寺子屋と、薬の処方を待つ間に気軽にカウンセリングを受けられる調剤薬局兼カフェを設ける。内川を計画地に引き込み、水辺の広場を設け、病院のリハビリの機能として利用すると共にお茶を飲む、散歩するなど、地域住民も気軽に訪れることが可能な水辺の広場を計画する。



配置図兼 1 階平面図 S=1/200

2 階平面図 S=1/200



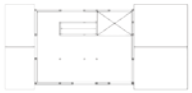
4 階平面図 S=1/200

3 階平面図 S=1/200

A-A' 断面図 S=1/200

既存配置図兼 1 階平面図 S=1/400

既存断面図 S=1/200



既存 2 階平面図 S=1/200